

病院機能評価 (3rdG: Ver. 3.0) の認定を受けました!

当院は、最新の医療環境に対応し、病院全体の機能や医療サービスの向上を図るため、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を継続的に受審しております。昨年8月19日、20日の2日間にわたり受審し、5回目の認定をいただくことができました。病院機能評価は、病院の組織全体の運営管理および提供される医療について、公益財団法人日本医療機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。病院機能評価によって一定の水準を満たした病院は「認定病院」となり、その認定は一般病院1、一般病院2、一般病院3、リハビリテーション病院、慢性期病院、精神科病院、緩和ケア病院に分かれています。その中でも当院が認定された「リハビリテーション病院」は、主として、リハビリテーション医療を担う病院であります。今回の認定は、患者さんの安全確保、医療の質向上、チーム医療の推進、情報管理、地域連携などの日々の取り組み、医師・看護師・コメディカル・事務職員など、すべての職員が一丸となって取り組んできた改善活動の成果が総合的に認められたものであり、地域の皆さまから寄せられた信頼と、日々の診療を支える職員の努力の賜物です。今後も、地域の皆さまに安心して選んでいただける病院であり続けるため、職員一同、より良い医療の提供と改善に努めるとともに、この評価・認定に満足することなく、患者さん一人ひとりに寄り添う医療、安全で質の高い医療をさらに追求してまいります。



リハビリティ だより

Inbody導入しました

この度、インボディ (Inbody) が当院へ導入されました。インボディは、微弱な電流を身体に流し、その抵抗値 (インピーダンス) から筋肉量・体脂肪量・水分量などを高精度に分析する体成分分析装置です。短時間、寝た状態で部位別 (右腕・左腕・体幹・右脚・左脚) の筋肉バランスや内臓脂肪レベル、栄養状態を詳細に把握できるため、健康管理、ダイエット、アスリートのトレーニング効果測定などに広く利用されています。高齢者の問題として取り上げられているフレイル、その主因ともなるサルコペニアとは加齢に伴う骨格筋量の減少と共に握力や歩行速度などの筋力低下が発生している状態を指し、様々な疾患・合併症のリスクを高め、予後を悪くすることが明らかになっています。サルコペニアの診断基準のうち、骨格筋量の減少はSMI (四肢骨格筋指数) という数値で確認でき、カットオフ値は65歳以上の男性7.0kg/m²、女性5.7kg/m²となっています。健康でいきいきとした生活が行えるようまずはご自身の健康面について調べてみませんか? 興味のある方はお近くのリハビリ部職員にお声かけ下さい。職員の方も同様に健康管理に活用していただければと思います。



給食課だより

今年の元旦はここ数年の中で最も冷え込む1日となりましたが、寒さに負けずリハビリに励まれた入院患者さんのために、昼食におせちを提供しました。



ぶりの鍋照り焼きを主役に、お正月らしい華やかなかまぼこやテリーヌ、梅の花をあしらった和菓子を入れて仕上げています。この1年も、栄養バランスのとれたおいしい給食で、皆様の入院生活を支えていきたいと思っております。



グループホームだより

百祝寿

小寺 雍子さんが100歳 (百寿) をむかえました。おめでとうございます。お祝いに小松島市長が来訪され、息子さんも県外から来て下さり一緒に歌を唱い樂しまれました。お昼は息子さんと大好きな「ちらし寿司」を食され穏やかな一日を過ごされました。いつまでも元気でいてくださいね。



ほいくしよだより

12月はクリスマス会と音楽劇 (オペレッタ) を行いました。サンタさんに目を輝かせ、音楽にあわせて踊って歌い、演技もする元気いっぱいの子供達! みんなと過ごした時間が素敵な思い出になりますように☆彡



サンタさん
ありがとう

しらゆきひめ



女王様、
衣装もバッチリ